



次世代総合教育会議 発表資料

「高知県、日本の未来を考えて、理想的な学校の姿とは」

1 高知国際高等学校 澤田千代子 委員

2 高知農業高等学校 坂本 琉恋 委員

る。 3 高知若草特別支援学校 小松 璃沙 委員

4 土佐塾高等学校 田中 **達仁** 委員

5 檮原高等学校 石原 憧 真 委員

学校名 高知県立高知国際高等学校 氏名 澤田 千代子

1. 自身や友人等の経験や、本やニュースで知ったことなどを踏まえて、今の「学校」の仕組みや授業の内容、ルール等について、①良いと思うところと、②変えたら良くなる、と考えるところ、そのように考えた理由やキッカケ。

①良いと思うところ

- 1. 学習においては「学び方を学ぶ」ということを実践している。「学び方を学ぶ」ために実践している3つのこと。
- 国際バカロレアが示している 10 の学習者像。探究する人や、バランスの取れた人、 挑戦する人など
- ▼探究、行動、振り返りの学習のサイクルを意識する。ゼミ活動などの探究活動においてこれらを意識している。一方通行ではなく、行動がうまくいかなかったら探究に戻るということもする。
- ATL スキル。振り返りスキルや転移スキルなど、学習のサイクルにおいてこれらス キルを意識している。これを通して自立した生涯学習者になることを目指している。
- 2. 多様性が認められやすい

女子はスカート、スラックスを自由に選択することができる。5月~10月まではクール ビズ期間となり、ネクタイやリボンを外して生活できる。

3. 生徒が積極的に課外活動に取り組んでいる

高知国際高校は IB 教育を取り入れており、その中のカリキュラムの一つである SA 活動 (奉仕活動) に普通科、グローバル科ともに取り組まなければならないため、生徒それ ぞれが探究活動で発見した課題などを解決するために、課外活動、ボランティア活動に 積極的に参加している。

②変えたら良くなる、と考えるところ

1. インターネット回線

日常的に繋がりにくい時があり、中3から高3までの約900人が調査だけでなく、共有してまとめたりするゼミ活動の時間などは特に繋がりにくくなります。これによってスムーズに学習をすることができなくなっています。

2. 課外活動を支援する体制

課外活動の一環で、イベントを開催するなどをしている団体もあるが、告知用のポスタ

一印刷や、準備物などにお金がかかる。課外活動で必要なお金に関しては、補助制度が 学校内にはなく、学校外の「こうちこどもファンド」に申請するなどの必要があり、活 動を始めるにあたって大きな壁となっている。

3. コースによっては授業と試験のつながりが十分ではない 授業は主に探究型で行うが、試験は知識問題が多く、各自で知識の定着の勉強をする必要がある。

- 2.1.の内容を踏まえて、「高知県、日本の未来を考えて、理想的な学校の姿」とはどういうものなのか。その理想的な姿を実現するためには何が必要なのか。
 - 1. 効率的で効果的な探究活動を行える学校。インターネット回線の改善により時間の 無駄なく効率的な活動をし、さらに学年を超えて共同で編集しながら進めていくな ど効果的な学習ができる。
 - 2. 地域との関わり、繋がりがある学校。地域と関わる活動は少なく、課外活動を始めるのには壁があるという状況なので、地域に信頼され、繋がりができると、学校だけでは学べないさらに幅広い社会的な学習を進めていくことができる。
 - 3. 生徒が積極的に物事に取り組む学校。3 年生になり受験に対応した授業が増えたときに、これまでに学んできた学び方を活かして、どう勉強したらいいのかを考えられるようになるので、私たちの探究活動の捉え方を少し変化させることで、生涯の強みにできると思う。
- 3.1.や2.を記載するにあたって、どのような形で意見や考え方をまとめたのか。

友人や先生方の意見も取り入れながら、自分でまとめた。

高知県、日本の未来を考えて 理想的な学校の姿とは何か。



高知県立高知国際高等学校

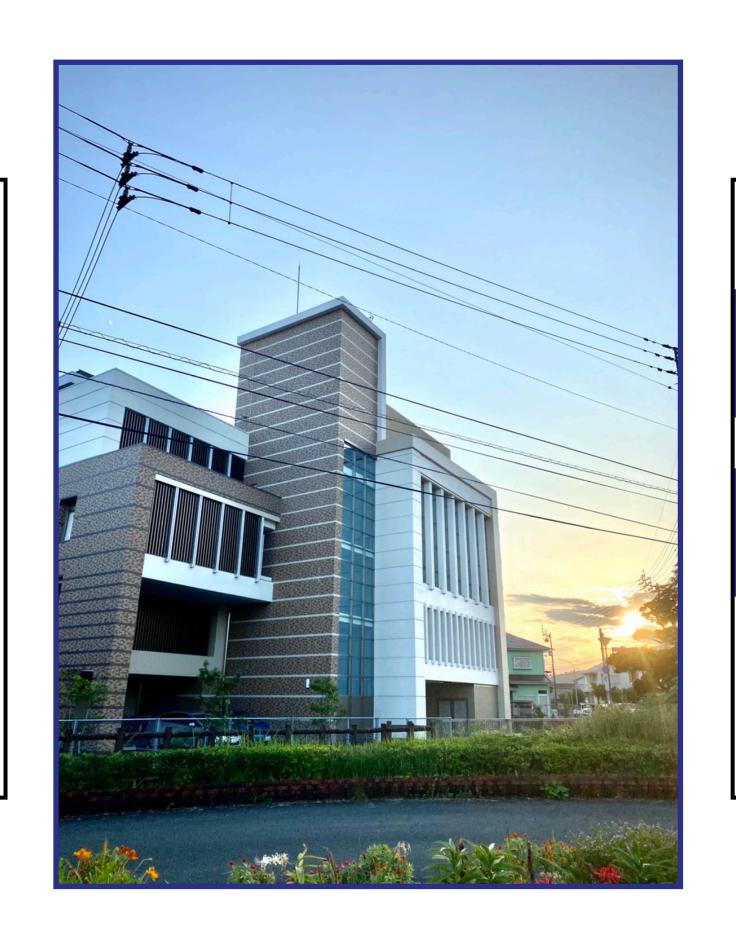
2年澤田千代子

高知国際高校について

2021年度4月開校

【キャッチフレーズ】

Think Globally
Act Locally



【教育課程】

普通科

グローバル科

探究コース・DPコース

高知国際高校について

国際バカロレア認定校一





- ・IBワールドスクール
- 西日本の公立校で初めてMYP(中学)、DP(高校)ともに認められた中高一貫校

ゼミ活動

- ・中学3年生~高校3年生が 参加
- ・自分の興味がある分野の ゼミを選択
- ・週1時間継続的な探究活動を行う

学校施設





いいと思うところ

多様性が認められやすい





新しい学び方学び方を学ぶ」

10の学習者像

国際バカロレアの使命



探究

学習のサイクル

振り返り

行

行動

ATLスキル

- ATL=Approach to Learning
- ・大切にしている学習方法
- ・自立した学習者になる

課外活動への 積極的な取り組み

SA(Service as Action)

- ・IB教育のプログラム
- ・社会貢献活動
- ・全校生徒が取り組む

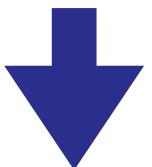
例えば)

- ○防災イベントの開催
- ○鏡川の清掃
- ○学校説明会の運営補助
- ○レモネードスタンド

変えたらよくなると思うところ

1 インターネット回線

- ・日常的につながりにくい時がある。
- ・全校が探究活動を行う 時間は、特に使用できな くなる。



学習がスムーズにできない

2

課外活動の 支援体制

学校側の資金援助はない

- ・イベント開催
- 会場費、準備費
- ・活動拡大、報告ポスター、チラシ、啓発資料印刷費

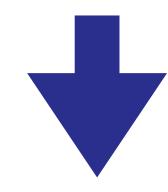


時間と労力がかかり、 活動を始める壁になる 3

授業と試験のつながり

授業:探究型

試験:入試に向けた知識問題



授業と試験のつながりが 十分ではない場合がある

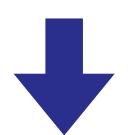
・各自で知識の定着の勉強

理想的な学校の姿

効率的で効果的な 探究活動

現状

- ・900人一気に使用できない
- ・無駄な時間になってしまう



- ○無駄のない効率的な活動
- ○共有し合うなど効果的な学習

2

地域との関わり、つながり

現状

- ・地域と関わる活動が少ない
- 活動するのに壁がある



- ○地域に信頼される学校
- ()学校だけでは学べない 社会的な学習
- ○より幅広い活動

3

積極的に取り組める

現状

・生徒に自ら学ぶ認識が不足



- 一学び方を学ぶ」ことで受験にもつながる
- ○生涯の強みになる

まとめ

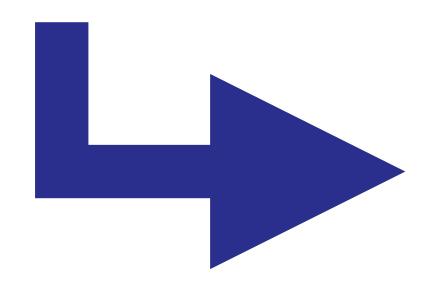
いいと思うところ

- ・多様性が認められやすい
- ・新しい学び方である「学び方を学ぶ」
- ・課外活動への積極的な取り組み

変えたらよくなると思うところ

- インターネット回線
- ・課外活動の支援体制
- ・授業と試験とのつながり

理想的な学校の姿



- ・効率的で効果的な探究活動
- ・地域との関わり、つながりがある
- ・生徒が積極的に学習に取り組む

学校名	髙知県立髙知農業髙等学校	氏名	坂本 琉恋
-----	--------------	----	-------

1. 自身や友人等の経験や、本やニュースで知ったことなどを踏まえて、今の「学校」の仕組みや授業の内容、ルール等について、①良いと思うところと、②変えたら良くなる、と考えるところ、そのように考えた理由やキッカケ。

① 良いと思うところ

○学科別でのクラス分け

- ・自分が学びたい分野について、専門的な授業を受けることができる。
- 3年間メンバーが同じクラスなので、仲を深めることができる。

〇コースに分かれての授業

・高校2年生になったら、進学コースと専門コースに分かれて授業を受けるため、大学へ行きたい人は進学コースで、より専門的な授業を受けたい人は専門コースなどと、自分の進路に合わせてコースを決められるところがよい。

② 変えたら良くなること

○体験型の授業を増やす

・専門教科では、実験などの作業をすることがあるが、ほとんどの授業は先生が説明 をして、生徒は聞くだけになっている。

説明を聞いただけで全てを理解できる人はあまりいないと思う。また、頭の中で別のことを考えてしまったり、眠くなってしまったりして授業についていけなくなってしまう人が増えていくと思う。そのため、グループワークの時間を積極的に増やすなど体験型の授業に力を入れる必要がある。

〇他学年や他校との交流を増やす

- ・社会に出ると自分と異なる年代の人と関わる機会が増えるため、異なる年齢の人 との自分なりの話し方を高校のうちに見つける必要がある。
- ・異年齢の人に対して何を話したらいいか、どんな言葉を使ったら相手に伝わりやすいかなど、初めての人とたくさん関わることで自分が考えもしなかったアイデアが浮かんでくるかもしれない。その時々に置かれている今の状況を自分で把握し、対応しないといけなく、社会人基礎力の一つである状況把握力を身に付けられる。

2. 1. の内容を踏まえて、「高知県、日本の未来を考えて、理想的な学校の姿」とはどういうものなのか。その理想的な姿を実現するためには何が必要なのか。

○年齢・学校関係なく、色んな人と関われる学校

・月に何回か、他校や他クラス・他学年の人と一緒に謎解きやカードゲームなど、遊びを通して、コミュニケーション能力を身に付けて、沢山の人を知っていくことが 大切だと思う。

〇受けさせられるから受けたいと思える授業

・授業で先生の話を少し聞いて、それぞれが自分なりに理解してからランダムにグループになって、みんなと教え合いながら協力して頭に定着させていったら良い。みんなと話して協力して問題を解決していくことは楽しく、聞いているだけの授業より授業を受けたいと思える。授業に限らず何に対しても主体性は大切だと思う。

○体験型の授業に力を入れる学校

・自分の目で実物を見たり実践したりすることで、より理解を深めることができると思う。しかし、授業で学ぶモノの実物を全て見せることはできないし、実験の施設を増やしたりすることは難しいと思う。そのためクロムブックで操作してリアルに実験できたり、実物を見たりすることができたりするアプリを作ってもらいたい。

3.1.や2.を記載するにあたって、どのような形で意見や考え方をまとめたのか。

社会で求められる能力を調べ、そこから関連付けて考えた。 また、考えたことについて、先生や友達とアイデアを出し合って、それらをまとめた。

次世代総合教育会議

高知県立高知農業高校2年 坂本琉恋



高知農業高校























両サイドに広がる見事な庭園

食品ビジネス科の商品











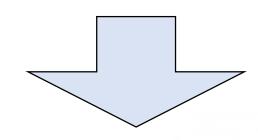
良いところ

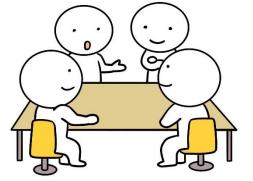
- ・専門学科別でのクラス分け
- コースで分かれての授業

変えたらよくなること(1)

一人で理解して聞いているだけの授業 エート 神神神神









グループワーク を増やす

体験型参加型

変えたらよくなること②

•他学年や他校との交流



社会に出たら異なる年代の人と関わるから、自分と違う年代の人との関わり方を見つける必要がある。 社会人基礎力の状況把握力が身につく。





~理想的な学校の姿~



年齢・学校関係なく いろんな人と関われる学校」



遊びを通してコミュニケーション能 力を身に付け、たくさんの人を知る

「受けらされるから受けたいと思える授業」

ランダムにグループになり協力して授業する





「体験型の授業に 力を入れる学校」

端末でリアルに実験 立体的にリアルな実物が見れる



アプリを作ってもらいたい。



学校名 高知県立高知若草特別支援学校	氏名	小松 璃沙
----------------------	----	-------

1. 自身や友人等の経験や、本やニュースで知ったことなどを踏まえて、今の「学校」の 仕組みや授業の内容、ルール等について、①良いと思うところと、②変えたら良くなる、 と考えるところ、そのように考えた理由やキッカケ。

- ①良いと思うところ
- ・生徒同士の交流の場面が多いところ。
 - →お互いが顔見知りで、丁寧な挨拶ができる。
- ・生徒数が少ないところ。
- →授業の中で、生徒同士が意見交換しやすく、話し合って学ぶことができる。 行事ごとでは、お互いが協力しながら話し合って活動することができる。 高等部は小規模で手厚いサポートがある。(自立活動や進路指導など)
- ②変えたら良くなると考えるところ
- ○休み時間を延長する。(授業間の休み時間、昼休み)
- ・授業間の5分休みを10分間にする。
 - →車椅子で生活しており、短時間での移動が困難である。また、エレベーターで移動する際に混雑し、待たなければならないことがある。
 - →お手洗いや教室間の移動で時間がかかることもあり、次の授業の準備が間に 合わないことがある。
 - →友達と雑談をゆっくり楽しむことができない。授業以外で生徒と教師がゆっくりコミュニケーションを取る時間が十分に取れない。
- ・給食の時間を含め、昼休みを60分間にする。
 - →教室から食堂までの移動に時間がかかり、昼休みが短くなる。昼休み中に放送係の仕事があり、その日は普段よりも急いで給食を食べなければならない。
 - ⇒時間的なゆとりが生まれれば、慌ただしさがなくなり、心の余裕がもてるようになる。
 - ⇒若草の良さを生かしながらゆっくり活動することができる。

2. 1. の内容を踏まえて、「高知県、日本の未来を考えて、理想的な学校の姿」とはどういうものなのか。その理想的な姿を実現するためには何が必要なのか。

「ゆとりのある学校」

○やりたいことに余裕をもって取り組める学校

個々に必要な学習をしたり、好きなことを深めたり、生徒たちが主体的に活動するための時間が確保でき、自分の進路に合わせて選択の幅を広げられる学校が理想。

(具体例)

- ・授業間の休み時間や昼休みを少し延長することで、授業の準備や昼休みの係活動、友 人との雑談など焦らずゆっくりできて、心身ともにゆとりが生まれる。
- ・ほぼ毎日1時間目に自立活動の時間(体の緩めや運動、生活や社会に関する学習の時間)を設定することで、準ずる教育課程の生徒も心と体の両面でウォーミングアップになる。
- ・時間割の中で生徒たちが主体的に活動する時間を設定することで、互いに自由に学ぶ 意思を尊重し合い、意見交換を通して人との関わり方を身に付けることができる。ま た、企画したことを他の学部や地域の人に発信し、参加してもらえる場になれば、人 とのつながりを広げ、参加者の思いが自らを彩り、高校生活が有意義になり、貴重な 経験や思い出にもなる。

少人数で意見交換しやすい環境という若草の利点を生かし、先生方や地域も一緒になって楽しめるアットホームな学校こそ、本当の意味でのゆとりのある学校ではないか。

上記のような自分たちが主体的に学べる理想的な学校を実現するためには、授業間の休み時間や昼休みの延長など時間の調整や、カリキュラムの見直しが必要ではないか。

3.1.や2.を記載するにあたって、どのような形で意見や考え方をまとめたのか。

クラスメイトや先生の意見を聞いたり、自立活動の時間に話し合った。 東京都の特別支援学校の校時表やカリキュラムについて調べ比較してみた。



ゆとりのある学校

高知県立高知若草特別支援学校 高等部3年 小松 璃沙

若草の良いところ

- ①生徒同士の交流の場面が多い
- → お互いが顔見知りで、丁寧なあいさつができる



②生徒数が少ない

→ 授業や生徒会活動、行事の中で、

生徒同士が意見交換しやすい

→ 高等部は小規模で手厚いサポートがある



生徒どうしの交流

生徒会の話し合いの時間を

- ○生徒総会の準備
- 〇挨拶運動
- 〇全校交流行
- ○体育祭の競

高知商業高校と

- ○学校間交流
- ○自分たちの

手厚いサポー

- 〇自立活動の時間
- ○個々の事情に応
- ○現場実習や体

次に、ゆとりのある 学校にするために、 調べたり考えたりし たことについて 説明します。



時間がかかること・・・









お手洗い

階段や廊下の移動

エレベーターの待ち時間

高知若草特別支援学校の中高等部の校時表

令和6年度校時表 (50分授業)

	月 ~ 金	- 04-7
8:40 ~ 8:50	生徒受け入れ・学級活動	5 分休み
8:50 ~ 9:40	第 1 時 限	10分
9:45 ~ 10:35	第 2 時 限	休み
10:45 ~ 11:35	第 3 時 限	
11:40 ~ 12:30	第 4 時 限	5 分休み
12:30 ~ 13:00	給 食	
13:00 ~ 13:15	昼休み	
13:20 ~ 14:10	第 5 時 限	5 分休み
14:15 ~ 15:05	第 6 時 限	
15:05 ~ 15:15	ホーム 終 礼	
15:20	スクールバス発車	

下校時間

休み時間が短く、下校時間が早くなる理由は…

(小・中・高)全学部の時間表を登下校や給食の時間に合わせて 組み立てている。

【理由】

- 〇始業式・終業式、式典(入学式・卒業式)、体育祭など の行事を全校で一緒に実施
- ○学習支援員や一部の教員が他学部間で授業に行っている
- 〇スクールバスは、分校の生徒も乗車(登校時)と 小中高の生徒が一緒に利用するため運行時間が決まる
- 〇放課後の時間確保(教職員の会議や打ち合わせ等)
- ※学部の事情に合わせて時間表を作成できない。

若草の変えたらよくなるところ

休み時間を延長する



授業間の休み時間 5

5分→10分

昼休み

50分→60分

下校時間の延長

15:20→15:35

- 次の授業の準備
- ・水分補給やお手洗い
- 昼休みの係活動
- ・友達との雑談

ゆとりが生まれる



焦らなくて よくなる



交流しやすくなるかも

やりたいことに余裕をもって取組める学校

カリキュラムの見直し



高等部の準ずる教育

現在 コースは1つ

自由に選択できるカリキュラムへ変更する

- ・心身の状態に合わせた授業選択
- 部活動や催しの時間を定期的にとれる時間枠



柔軟に対応できるようになれば、やりたいことにチャレンジできて、充実した学校生活が送れる。

東京都立水元小合学園の時間割 (高等部準ずる教育課程の例)

	月	火	水	木	金
8時50分~9時	SHR				
9時5分~55分	現国	自立	美術 I	家基	言文
10時~50分	現国	科人	美術 I	家基	言文
10時55分~11時45分	英コ I	科人	数学 I	公共	歴総又は地総
11時45分~12時40分	給食・休憩				
12時40分~13時30分	情報I	産社	情報I	保健	公共
13時35分~14時25分	LH	歴総又は地総	英コI	体育	自立
14時30分~15時20分	体育	数学 I	総合	歴総又は地総	数 ^I 35

2つのコース【進学重点類型・総合ビジネス類型】

高2から類型に分かれて所属し、類型に応じた自由選択科目を履修

帰りのスクールバスの時間【14:10 - 15:45】

下校便 通年2便



水元小合学園ホームページ

https://mizumotokoai-sh.metro.ed.jp/site/zen/page_0000000_00014.html

(水元小合学園HPより参照)

私の理想の時間割

	月	火	水	木	金
1	総合	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動
2	総合	授業	授業	授業	授業
3	LH	授業	授業	授業	授業
4	自由に学ぼう プロジェクト!	授業	授業	授業	授業
給食・昼休み	じゆまな		35分・25分		
5	じゆ学プロジェク	クト	授業	授業	授業
6	************************************	授業	授業	授業	授業 27



学校名 土佐塾高等学校	氏名 田中 達仁	
-------------	----------	--

1. 自身や友人等の経験や、本やニュースで知ったことなどを踏まえて、今の「学校」の仕組みや授業の内容、ルール等について、①良いと思うところと、②変えたら良くなる、と考えるところ、そのように考えた理由やキッカケ。

① 良いと思うところ

●ICT 教育

土佐塾高校では iPad を利用した ICT 教育を行っている。生徒・教員一人一人が iPad を持っており、その特性を活かして、学習を効率よく行っている。その例として、英語のリスニング音源の配信などの個別最適化や Google フォームを利用した授業の工夫などが挙げられる。ほかにも、出欠連絡や行事やバスの運行時間、様々な情報を一括して確認できるポータルサイトを活用している。

●生徒主体の考え方

『放課後キッチンカーイベント』が生徒主体の考え方の一例として挙げられる。

土佐塾中高は山の上に位置していることもあり、放課後に友達同士でお店に寄ったりご飯を食べたりできない生徒も多い。それを学校が考慮して開催されているのがこのイベントである。実際、生徒からの評判もよく、ピロティは大賑わいである。

② 変えたら良くなるところ

●生徒の持つ苦手意識

友達と話している際、「日本人だから英語いらない」「別に海外行かないし」といった 声をよく聞く。ほかにも、英語という科目に苦手意識を持つ生徒もいた。

英語には『言語』の壁があり、それが生徒の抱く苦手意識につながっているようだ。英語は他の科目と異なり、コミュニケーションツールであるが故に、会話などの言語活動が必要になる。加えて、英語は単元ごとになっていないため、複合的な力が必要となる。このようなことから、得点に繋がりにくく、結果としてすぐに現れにくいことが壁となっているようだ。

しかし、英語は実生活でもスキルとして求められることが多い。それだけでなく、高知県はこれから国際色が豊かになっていくだろうと推測している。

2.1.の内容を踏まえて、「高知県、日本の未来を考えて、理想的な学校の姿」とはどういうものなのか。その理想的な姿を実現するためには何が必要なのか。

現在、高知県の外国人観光客の増加率は東京都に次いで2位である。実際、大型客船なども高知に停泊し、街中にたくさんの外国人を見かけることがある。私自身も外国人観光客に道を尋ねられた経験があり、その際に円滑にコミュニケーションをとることがうまくできなかった。高知県が今後国際色豊かになっていくことを考慮し、学校の英語教育の強化及び向上を提案したい。

まず、高知県の英語教育の現状は一長一短であり、改善の余地は十分にあると感じた。 2022 年度英語教育実施状況調査によると、高知県の中3の英検3級取得率は49.2%で政府の掲げる目標にはわずかに届かなかった。

これに対して、英語教育が強いさいたま市と福井県を見てみると、さいたま市は中3の英検3級取得率が86.3%、福井県は中3の英検3級取得率が85.8%という結果で、約1.6倍の差が生じている。

さいたま市や福井県の英語教育が強い所以は、県や市が様々な策を実施していることにあるようだ。さいたま市では、公立小学校で9年間を一貫した英語カリキュラム「グローバル・スタディ」を実施。福井県では、県全体で英語教員の英検準1級の取得率や、授業での英語使用率の目標を設定するなどの工夫が見られた。

そこで、高知県には以下の内容を提案したい。

- ●英語教育の強化・向上
- →英語に触れる機会を増やす:授業内での英語使用率などの目標の設定
- →留学に関する支援:留学支援・留学生の受け入れ
- ●英語外部試験の奨励
- →受験の推奨:英検取得率の目標を設定・受験費用の支援・受験会場設営への取り組み
- →教員採用試験での利用:指定の級を取得で給与 UP などの工夫

3.1.や2.を記載するにあたって、どのような形で意見や考え方をまとめたのか。

意見や考えをまとめるために、同じ学年の友達に意見を聞き、学年の担当英語教員との意見交換を重ねた。ウェブサイトなどを利用し、高知県の英語教育にまつわるデータを参照したり、英語教育が強い都道府県や市区町村のデータと比較したりした。

高知県と英語教育

土佐塾高校 2-G 田中達仁

Agenda

- ・土佐塾高校の良いと思うところ
 - →ICT教育
 - →生徒主体の考え方
- ・土佐塾高校の変えたら良くなると思うところ
 - →生徒の持つ苦手意識
- ・今私の思う理想の学校
 - →英語教育の強化・向上

土佐塾高校の 良いと思う ところ



ICT教育

学習方法の効率化

ポータルサイト

英語研究 1学期 ② ベネッセ記述 2023/7 st201077@tosajuku.ed.jp アカウントを切り替える 共有なし *必須の質問です Class * \bigcirc T () G No * 選択 Name * 回答を入力

(ア) 勉強を始めて10分もたたないうちに寝てしまった。* 回答を入力 (イ) この場所が一番気持ちいいんです。* 回答を入力 I think this feature has both good and bad aspects. (X)* *30~40words 回答を入力 On the other hand, (Y). * *30~40words 回答を入力

ICT教育

学習方法の効率化

ポータルサイト

ポータルサイト

HOME

お知らせ

ICT関連FAQ

行事·部活大会予定

生徒•保護者用掲示板

関連サイトリンク

シラバス

試験範囲

時間割・授業メモ

個人情報

ネットリテラシーアンケート

出席状況確認

キャッシュレス食堂

部活動一覧

休業中部活動予定表

アプ゜リホワイトリスト

生徒必携

キャリアハ゜スホ゜ート

StudyRecord

OnLineLibrary



2024/07/23 (火)



連絡事項(1件)

受験指導室

【模試時間割】

本日の大学別模試の時間割です。ご配慮ください。

拾得物 (※心当たりのある生徒は東職員室・生徒部まで)

2024-07-19

ハンドタオル

拾得場所:不明



揭示板最新記事10件

掲示板記事内検索: 複数語句は「,」区切で入力

検索

カテゴリー絞込: カテゴリー選択

(2024-07-19) 保護者面談日の駐車場のご案内(令和6年度1学期)

(2024-07-19) 保健だより 第5号

(2024-07-19) 夏休みの課題一覧

(2024-07-19) 夏休みの生活について

(2024-07-18) スポーツ雑誌

(2024-07-18) 中学1年(A~Dホーム) 7月テストの講評

(2024-07-18) 公開講座・オープンキャンパス等のご案内

(2024-07-17) 【中3】7月テスト個人票配布のお知らせ A~Dホーム

(2024-07-16) 【漢字検定】第1回結果について、第2回受検案内 (10月20日)

(2024-07-16) [高1・高2] 11/10(日)マーク模試案内





2024/07/24 (水)



※掲載時刻は変更になる場合があります。 予めご了承ください。



スクールバス

~	
高知駅方面	15:40 18:15
瀬戸・春野方面	15:40 18:15
土佐市方面	15:40 18:15
香南市・南国市方面	15:40 18:15
十市・介良・潮見台方面 (※高知駅方面のバスも利用できます)	18:15
一宮・薊野方面 (※高知駅方面のバスも利用できます)	18:15
高知市東方面	15:40 18:15
高知市西方面	15:40 18:15

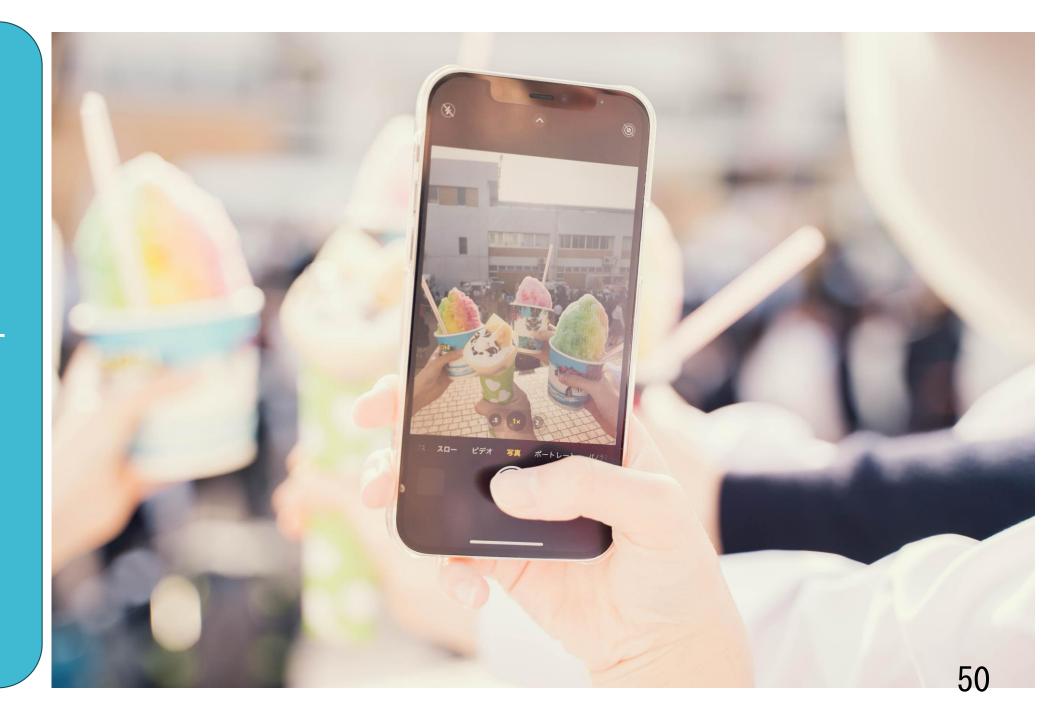
シャトルバス (カード不要)

	15:20
	15:40
	16:15
	16:30
公林 、土林野科	17:15
学校 → 幸崎駐輪場	17:30
	18:15
	18:30
	18:50
	19:00
学校→幸崎駐輪場→上町二丁目	12:45

生徒主体 の 考え方

放課後キッチンカーイベント

キッチンカー イベント



土佐塾高校の 変えたら 良くなると 思うところ

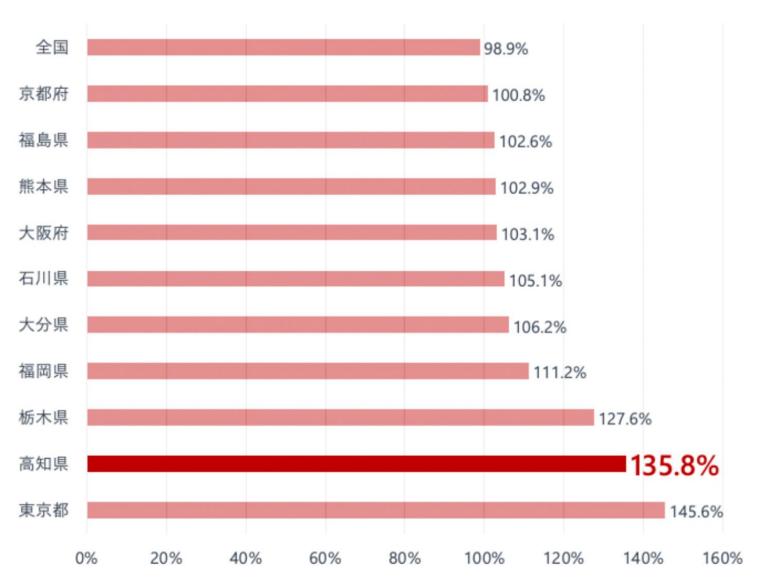
生徒の持つ苦手意識

生徒の持つ 苦手意識

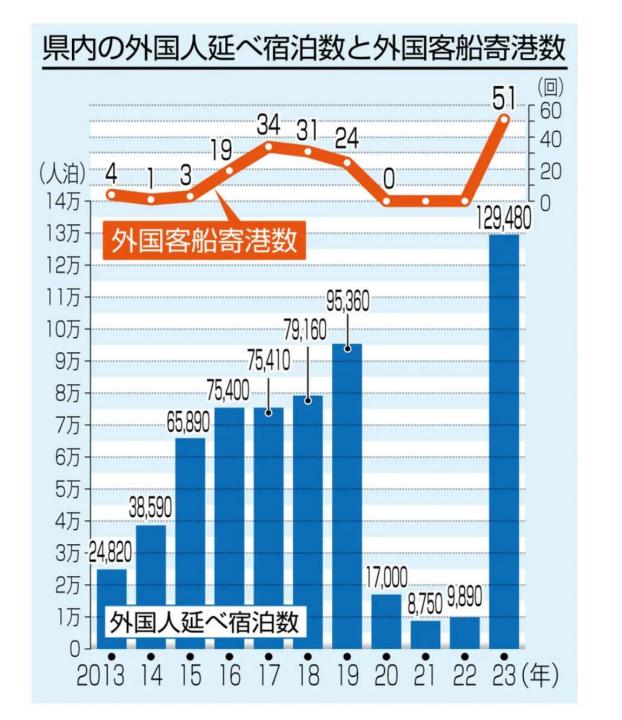


英検を敬遠しがち

2023年の外国人宿泊者数 2019年比(上位10都道府県+全国値)



53 出典:インバウンドプラス(2024年)



出典:高知新聞(2524)

提案

①英語教育の強化・向上

- →英語に触れる機会を増やす
- →留学に関する支援
- ②英語外部試験の奨励
 - →受験の推奨
 - →教員採用試験で利用

提案①

英語教育の 強化・向上

英語に触れる機会を増やす

→授業内の英語使用率などの目標の設定

留学に関する支援

→留学支援・留学生の受け入れ

資料 No. 1

英語教育実施状況調査の結果について

令和5年5月29日 義務教育課

〇結果と推移

本県の状況 (例年12月1日現在) 令和2年度は実施なし

[%]

〈英検〉 3級相当

進1級相当

項目	平成30年	令和元年	令和3年	令和4年
中学3年生の英語力	61.2	61.4	85.8	86.4
(CEFR A1 レベル以上)	(42.6)	(44.0)	(47.0)	(49.2)
	1位	1位	(1位)	(1位)
中学校英語担当教師の	58.7	59.7	64.8	65.3
英語力	(36.2)	(38.1)	(40.8)	(41.5)
(CEFR B2 レベル以上)	1位	1位	(1位)	(1位)
	※ ()	は全国平均値	順位は政令指	定都市を除く

〇生徒の英語力について

要因① コミュニケーションを重視した授業改善

英語の授業を英語で行い、生徒が意見や考えを英語で表現するなど長年の授 業改善が背景にある。

要因② 外部検定試験GTECの活用

「聞く」「読む」「話す」「書く」の4つの技能を統合的に育成するために、令 和2年度から中学3年生はGTECを受験している。その結果を分析し、教員を 対象とした研修や、授業づくりに関する動画を配信し、教員の指導改善と生徒の 学習改善につなげている。なお、外部検定試験の受験料については、平成28年度 より、中学3年生を対象に全額補助している。

(平成28年~令和元年 英語検定 / 令和2年度~ GTEC)

要因③ 外国語指導助手(ALT)の雇用

全中学校にALTを配置し、1・2年生で週1.5時間、3年生では、週1時 間のティームティーチングによる授業を実施している。また、授業の内外を 問わず、ALTの積極的な活用を実施している。

要因④ 小学校における外国語教育先行実施

平成30年度から段階的に小学校での外国語教育を実施し、31年度までの2年 間を準備期間としたことで、学習指導要領に沿った小学校外国語教育へのスム ーズな移行を行った。

○教員の英語力について

要因① 授業改善に向けた努力とALTの有効活用

各学校(配置校)にALTがいるため英語に触れる機会が多い。

要因② 福井県英語研究会

全ての中学校と高校の英語教員が参加する自主研究組織での授業改善に資する取 組を継続している。

英語教育実施状況調査の結果について

令和5年5月29日 高 校 教 育 課

○結果と推移について

本県の状況 (例年12月1日現在) 会和2年度は実施なし

	4-7/10-10-10-10-10-11-10-11	I HOULT HAL	2 十尺は大池な	_	[/0]
<英検>	項目	平成30年	令和元年	令和3年	令和4年
準2級相当	高校3年生の英語力	56.0	58.4	59.6	60.8
4- 2 NXTD =	(CEFR A2 レベル以上)	(40.2)	(43.6)	(46.1)	(48.7)
		(1位)	(1位)	(1位)	(1位)
	高校3年生の英語力				26.0
2級相当	(CEFR B1 レベル以上)	CEFR	(21.2)		
		令	和4年度より実	施	(5位)
準1級相当	高校英語担当教師の英	91.4	93.9	96.9	95.4
7 7 10(11)	語力	(68.2)	(72.0)	(74.9)	(72.3)
	(CEFR B2 レベル以上)	(2位)	(1位)	(1位)	(1位)
1級相当	高校英語担当教師の英				40.5
	語力	CEFR	(22.5)		
	(CEFR C1 レベル以上)	令	(2位)		

※()は全国平均値 順位は政令指定都市を除く

〇生徒の英語力について

要因① 4技能を重視した授業改善とパフォーマンス評価の実施

生徒が読んだことや聞いたことについて、意見や考えを英語で表現するなど、4 技能統合型の授業作りに加えて、スピーキングテストやライティングテストのパ フォーマンス評価を組み入れた授業改善を行っている。

要因② ICT機器の活用

話すことにおけるやり取りや書く活動、発話を録音・録画をする活動に、各教員 が一人一台のタブレットを積極的に活用し、生徒の表現力の育成に努めている。

・「発話や発音の録音・録画する活動」 R3 85.2% ⇒ R4 95.8%

「キーボード入力等で書く活動」

R3 81.5% \Rightarrow R4 95.8%

・「遠隔地の生徒等と英語で交流する活動」 R3 25.9% ⇒ R4 41.7%

要因③ ALTの活用

県内すべてに JET プログラムおよび県独自任用しているALTを配置し、授業だ けでなく、授業外での生徒との交流に積極的にALTを活用している。

○教員の英語力について

要因① 自己研鑽の場の設定

ディベートの研修会を積極的に行い、教員がディベートについて学ぶ機会を設け ている。論理・表現の授業を中心に、ディベートを積極に行うことで、生徒だけ でなく教員の英語力向上にもつながっている。また、自主研究組織の福井県英語 研究会で、中学校と高校の英語教員が連携を取り、授業改善を行うなど、自己研 鑽の場となっている。

要因② 教員採用試験における外国語資格の利用

教員採用試験で外国語資格による加点を行っている。

出典:福井県教育委員会HP(2023)

特に

要因② ICT機器の活用

話すことにおけるやり取りや書く活動、発話を録音・録画をする活動に、各教員が一人一台のタブレットを積極的に活用し、生徒の表現力の育成に努めている。

・「発話や発音の録音・録画する活動」 R3 85.2% ⇒ R4 95.8%

・「キーボード入力等で書く活動」 R3 81.5% ⇒ R4 95.8%

・「遠隔地の生徒等と英語で交流する活動」 R3 25.9% ⇒ R4 41.7%

〇生徒の英語力について

要因① コミュニケーションを重視した授業改善

英語の授業を英語で行い、生徒が意見や考えを英語で表現するなど長年の授業改善が背景にある。

要因② 教員採用試験における外国語資格の利用

教員採用試験で外国語資格による加点を行っている。

提案②

英語外部試験の奨励

受験の推奨

→英検取得率などの目標の設定

教員採用試験での利用

→指定の級を取得で給与UPなどの工夫

検定料や会場

【2024 年度 「英検 (従来型)」、「英検 S-CBT」、「英検 S-Interview」 の検定料一覧】 (税込)

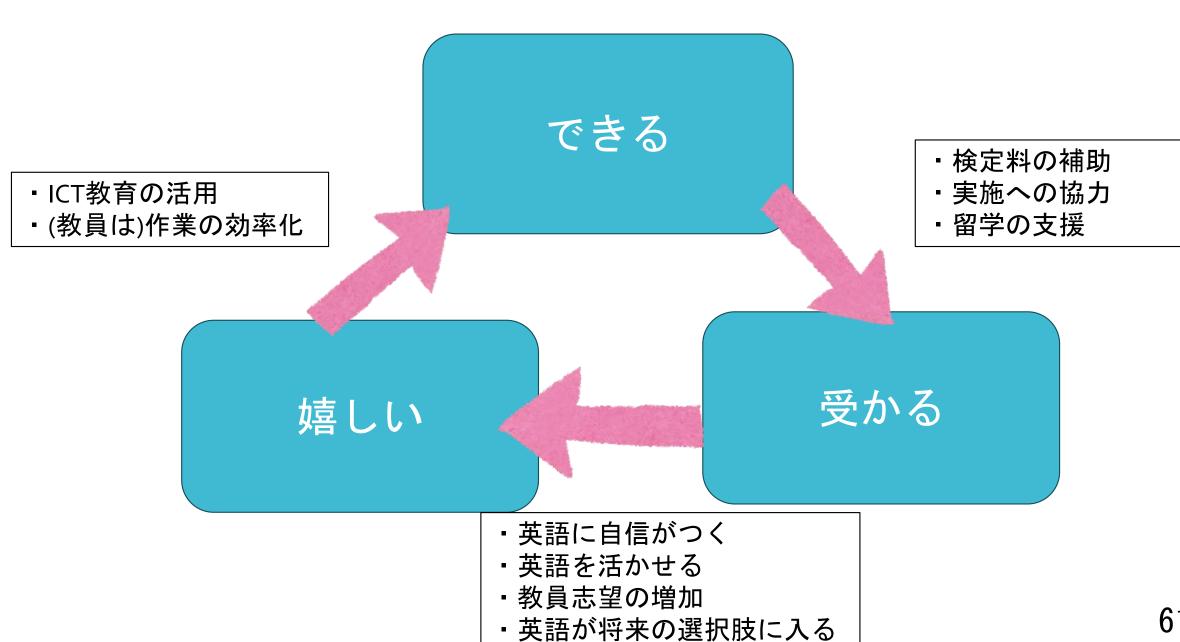
	申込区	分	実施 一次試験	会場 二次MM	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級 *1	5級 *1
英検 (個人/ 団体	本会場	本会場	本会場		10,500円 (現在 9,800円)	9,100 円 (現在 8,400円)	8,500円 (現在 7,900円)	6,900 円 (現在 6,400円)	4,700 円 (現在 4,500円)	4,100 円 (現在 3,900円)
従来型)	団体申込 のみ	準会場	準会場	本会場	-	_	6,900 円 (現在 6,400円)	6,100 円 (現在 5,700円)	5,000 円 (現在 4,700円)	2,900 円 (現在 2,900円)	2,500 円 (現在 2,500円)
	英検S-CB	Г *2	テストt	2ンター	_	10,600 円 (現在 9,900円)		9,100円 (現在 8,500円)		_	_
3	英検S-Inte	rview	受験上のに適した		12,600円	10,600円		9,100円		_	_

*1: 4級・5級は一次試験のみ

*2: 「英検 S-CBT の検定料は、2024 年 5 月実施分より改定いたします。 (2024 年 4 月実施分までは、2023 年度の検定料となります。)

※ 海外会場の検定料(本会場・準会場)は、別途、確定次第、英検ウェブサイトにてご案内いたします。

検定料や会場の手助けがあると嬉しい!!



改めて提案

- ①英語教育の強化・向上
 - →英語に触れる機会を増やす
 - →留学に関する支援
- ②英語外部試験の奨励
 - →受験の推奨
 - →教員採用試験で利用

参考文献

ウェブサイト

INBOUND PLUS 編集部."高知県の外国人宿泊者数が増加傾向!考えられる要因や特徴的な取り組みを紹介".INBOUND PLUS.2024-03-08.

https://inboundplus.jp/wp/feature/99218/(参照2024-07-31)

高知新聞."過去最多の12万9千人泊 高知県の外国人宿泊数 2023年が全国2位の伸び".高知新聞PLUS DIGITAL.2024-04-30. https://www.kochinews.co.jp/article/detail/740477(参照2024-07-31)

福井県教育委員会."英語教育実施状況調査の結果について".英語教育実施状況調査の結果について.2023-05-29. https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kyousei/kyouikuiinnkai05_d/fil/1159-05.pdf(参照202407-31)

川端珠紀."英検、2024年度検定料を値上げ…従来型・S-CBT・S-Interview".ReseMom.2023-11-21. https://resemom.jp/article/2023/11/21/74700.html#:~:text=2024%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E3%81%AE%E8%8B%B1%E6

%A4%9C,%E5%86%86%EF%BC%88%E7%8F%BE%E5%9C%A84%2C500%E5%86%86%EF%BC%89%E3%80%81(参照2024-

07-31)

学校名	高知県立檮原高築学校	丘 夕	石原 憧真
一十八石	局划県立帰原局寺子仪		1

1. 自身や友人等の経験や、本やニュースで知ったことなどを踏まえて、今の「学校」の 仕組みや授業の内容、ルール等について、①良いと思うところと、②変えたら良くなる、 と考えるところを、そのように考えた理由やキッカケ。

梼原高校の良いところの1つは少人数体制の授業形式で教員と生徒の距離が近いことです。生徒数が他校と比べると少ないのにも関わらず、授業の人数が成績や学習進度の状況によってさらに少人数になります。その結果教員1人が見ることができる生徒数の割合が少なくなり私が把握している範囲だと意欲的に授業に参加する生徒が多い傾向にあります。また、自然などの梼原の特色を生かした総合的な探究の時間の授業が魅力的です。他にも大阪や東京など様々な場所から生徒が集まるため多文化的な学校とも言えます。私は実際に東京から越境留学をしているのですが方言や習慣など色々な違いを知る事ができました。逆に梼原高校には校則についての問題点も抱えています。

2. 1. の内容を踏まえて、「高知県、日本の未来を考えて、理想的な学校の姿」とはど ういうものなのか。その理想的な姿を実現するためには何が必要なのか。

私は誰もが不満を感じる事なく社会に出ていくための力を身につけ人間として成長できる場が理想的な学校だと思いました。まずその理想的な学校の姿になるために学校に存在する問題点の解決が大切だと考えました。そこで私は梼原高校の校則について着眼しました。私は生徒会長を務めていた時期があり、その時の活動の一環として当時の教頭先生から梼原高校の校則について生徒の視点から考えてみないかという提案があがりました。そこでは理想的な学校の姿をめざす第一歩として校則の共通認識を生徒と教員が持つ必要があると考え早速全校生徒と先生方に向けてアンケートを取りました。そこにはやはり校則についての認識に差があり今の校則を変えたほうが良いという意見が多数でした。その認識のずれを生徒が主体となって地域からの援助を頼りにしつつ少なくしていくことが必要だと思います。

3.1.や2.を記載するにあたって、どのような形で意見や考え方をまとめたのか。

私は中学時代、東京の学校に通っており高校から越境留学という形で梼原に来ました。 入学してからの2年間たくさんの友人や先生方に囲まれ成長していく中で実際に思った ことや感じたことなどを参考にして書きました。また生徒会の活動も大きかったです。

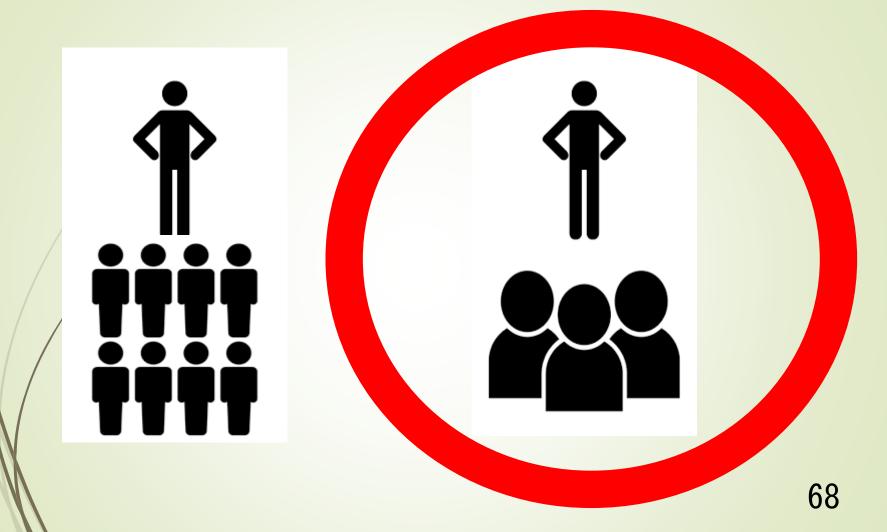
次世代総合教育会議

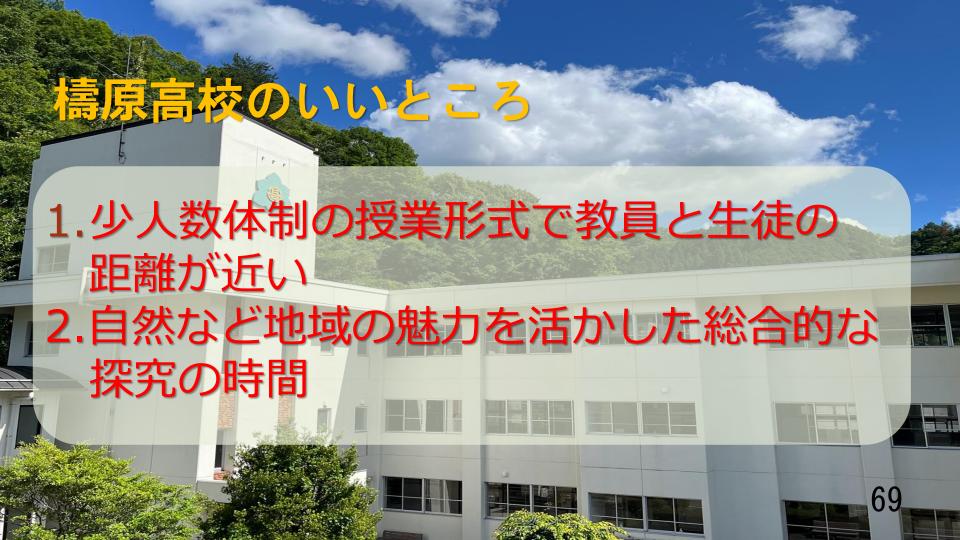
高知県立檮原高等学校 3年 石原憧真

あるべき学校の姿

誰もが不満を感じることなく 社会に出ていくための力を 身につけ人間として成長できる場











檮原高校のいいところ

- 1.少人数体制の授業形式で教員と生徒の距離が近い
- 2.自然など地域の魅力を活かした総合的な 探究の時間
- 3.様々な場所から生徒が集まる多文化な学校

あるべき学校の姿

誰もが不満を感じることなく 社会に出ていくための力を 身につけ人間として成長できる場

- 社会で生きるために必要な規範意識を身につけるためのもの
- ↓生徒の不満の種にもなりうるもの



檮原高校の改善点

校則について

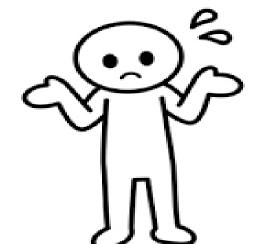
多文化で様々な価値観 が混在しているから

→生徒と教員で校則の認識に差がある

→古い、時代遅れで多様性を感じられない











校則についての認識のずれを生徒が主体となって教員と地域が協力し、

解釈をすり合わせる必要がある

あるべき学校の姿 みんなが協力して

多様性を認め合える学校

